

2016年9月期 決算説明会

2016年11月22日



高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

2016年9月期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

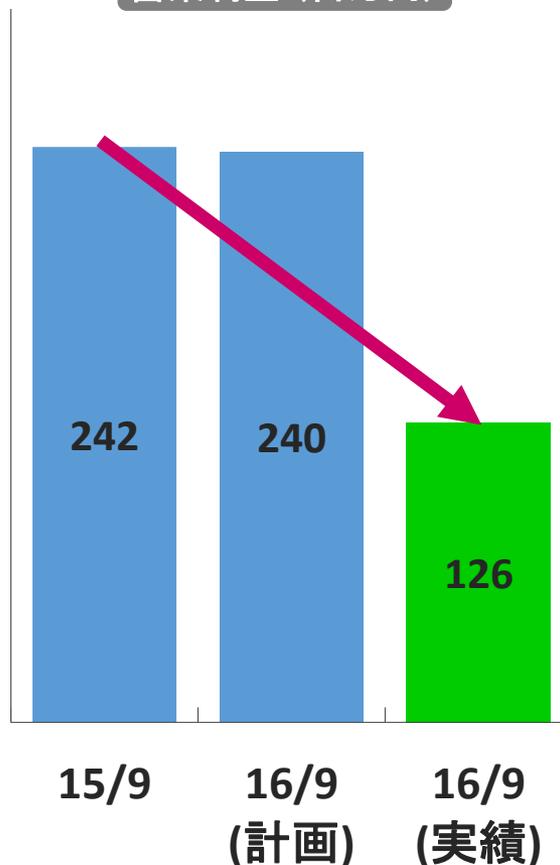
2016年9月期 連結業績ハイライト

減収、営業利益は減益となるも経常利益は微増

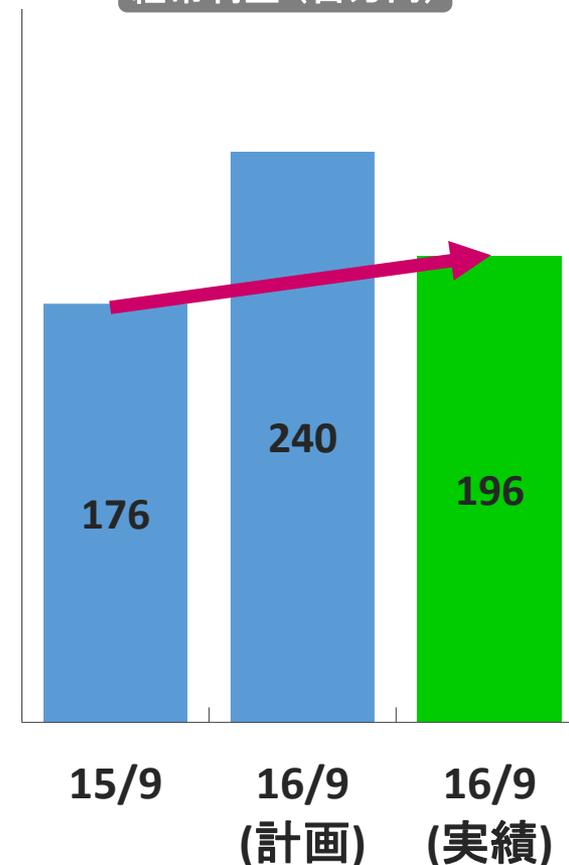
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



2016年9月期 連結業績の詳細

粗利率の改善、経費削減に努めるも減収の影響を補えず営業利益減益、
為替差損発生要因解消等により経常利益、最終利益は増益

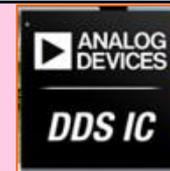
(百万円)

	15/9	16/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	10,408	10,510	8,780	△1,729	△1,628	△15.6
粗利益	2,547	2,810	2,305	△504	△242	△9.5
粗利益率(%)	24.5	26.7	26.3	△0.5	1.8	—
販売費及び一般管理費	2,305	2,570	(※) 2,178	△391	△127	△5.5
販管费率(%)	22.2	24.5	24.8	0.4	2.7	—
営業利益	242	240	126	△113	△115	△47.6
営業利益率(%)	2.3	2.3	1.4	△0.8	△0.9	—
経常利益	176	240	196	△43	19	10.8
経常利益率(%)	1.7	2.3	2.2	△0.0	0.5	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△15	70	77	7	92	—
親会社株主に帰属する当期純利益(%)	△0.1	0.7	0.9	0.2	1.0	—
人員	513	—	495	—	△18	—

※：のれん償却 193百万円計上(15/9は221百万円)

資料：セグメント・プロダクト

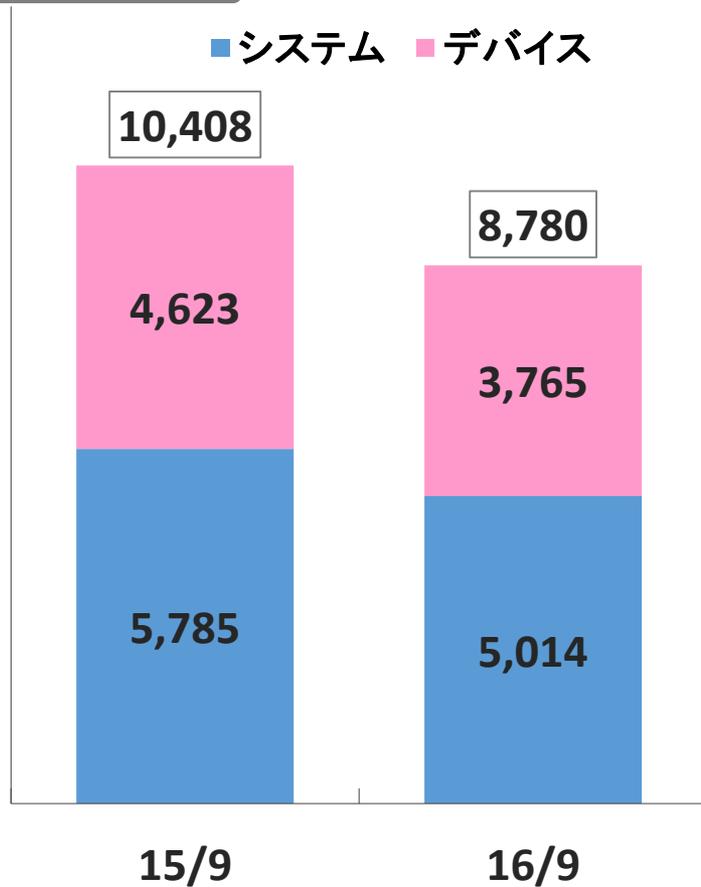
セグメント	プロダクト (商品類)	商品例
システム	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS(商品監視システム) ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防火システム
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム
	カスタマ・サービス	システムセグメント内の商品の構築・保守・運用管理
デバイス	電子	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー
	産機	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠



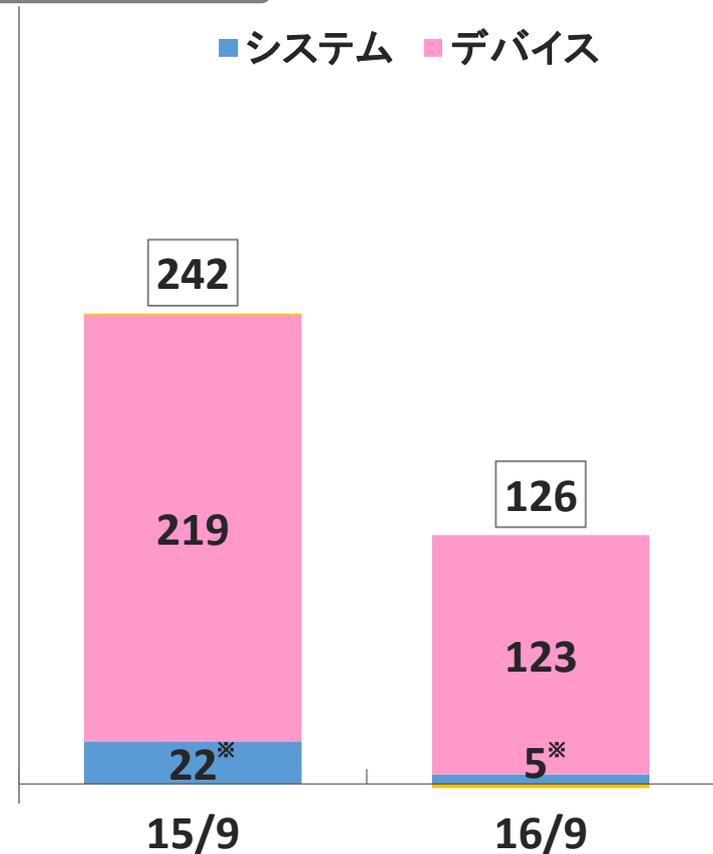
セグメント別業績のハイライト

両セグメントとも減収減益

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

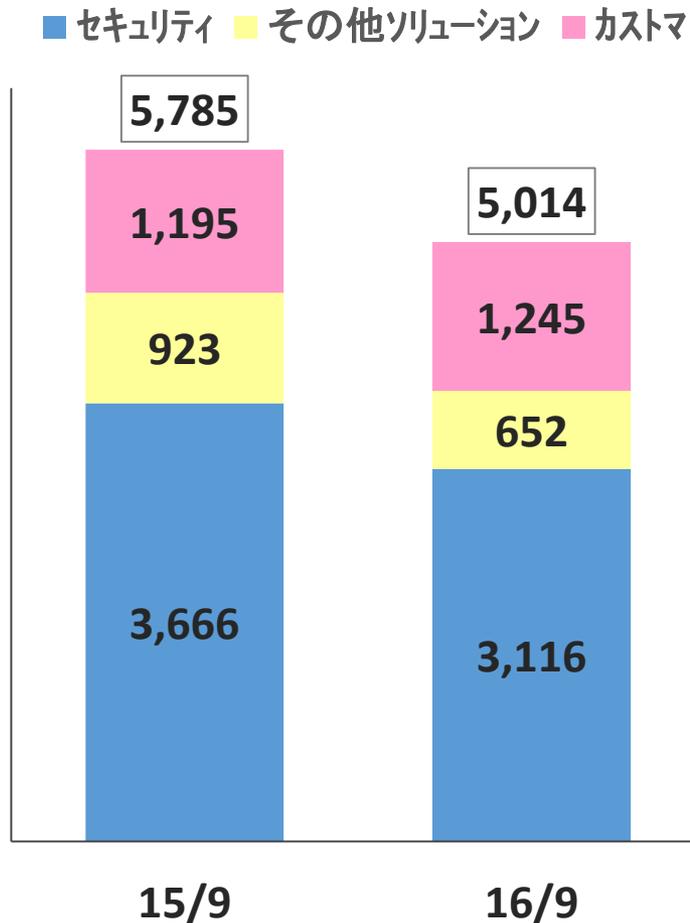


※システムには投資コスト(のれん償却)含む
15/9 221百万円 16/9 193百万円

システムセグメントの業績

カスタマ・サービスが増収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ カスタマ・サービスはスマートフォン向けディスプレイセキュリティの独自の保守体制構築による大口スポット保守収入等を計上し増収
- ◆ セキュリティは小売店向けが苦戦、及び円高による海外子会社の円換算売上高目減りにより減収
- ◆ その他ソリューションプロダクトではメーリングの前年特需が剥落する等して減収

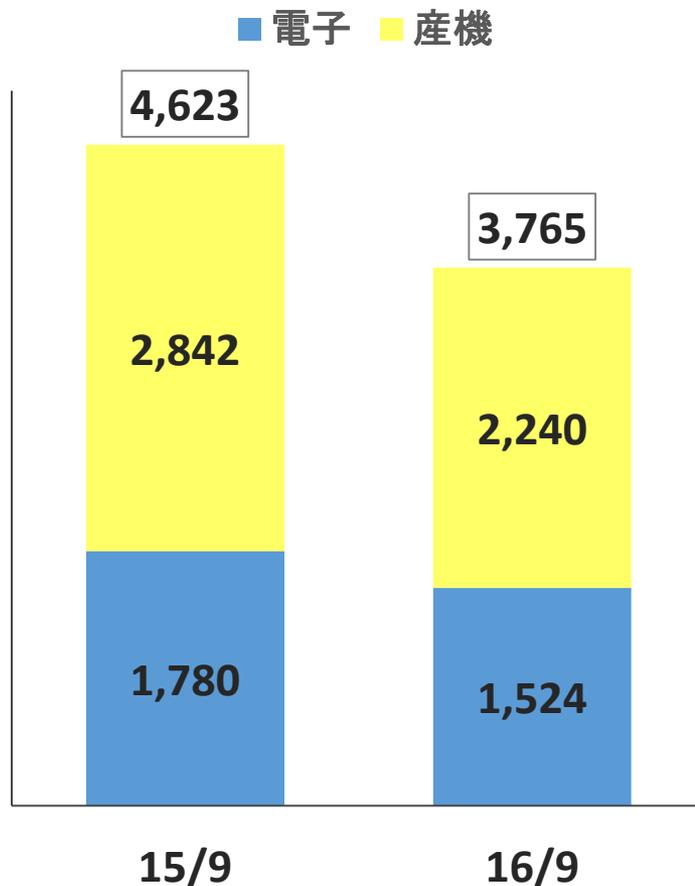
営業利益（百万円）

	15/9	16/9	前期比
システム	22	5	△16

デバイスセグメントの業績

両プロダクトとも減収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ 産機プロダクトでは、中国ATM市場向けの販売不振等により減収
- ◆ 電子プロダクトでは、スマートフォン向け販売苦戦、IP-PBX(構内交換機)量産化後倒し等により減収

営業利益 (百万円)

	15/9	16/9	前期比
デバイス	219	123	△95

セキュリティプロダクトの業績

オフィス、ドラッグ以外の市場で減収

売上高 (百万円)



定性情報

- ◆ オフィスでは外資系企業向け入退室管理システム好調
- ◆ 小売リテール市場ではアパレルショップ、GMS向けが苦戦
- ◆ 防火は、東南アジア各国で新規・拡張案件が数多く計画されている発電所案件に特化し、原油安によるPOG※案件停滞の影響カバー (※POG : Petrochemical、Oil、Gas)



EAS(商品監視システム)

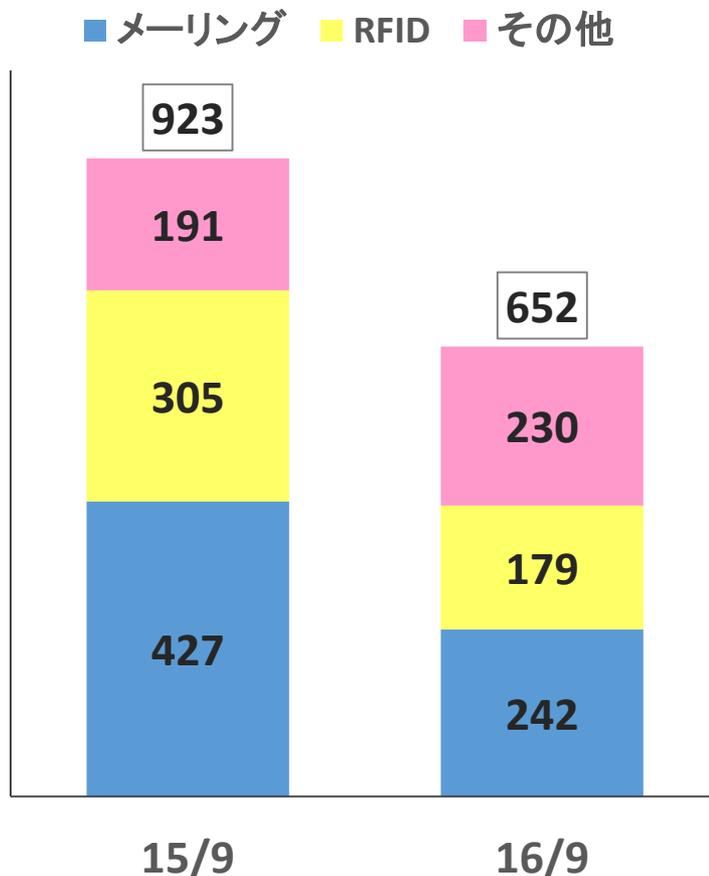


東南アジア発電所

その他ソリューションプロダクトの業績

メーリングとRFIDが大きく減収

売上高（百万円）



定性情報

- ◆ RFIDは顧客の要求複雑化と効果検証の長期化に伴う大型案件の後倒しにより減収
- ◆ メーリングでは、前年のマイナンバー関連特需が剥落し減収
- ◆ その他は引き続きクラウド型無線LANシステム（Meraki）等が小売店や学校等で好調に推移
（国内トップ販売会社として仕入先のシスコシステムズ社より2年連続で表彰）



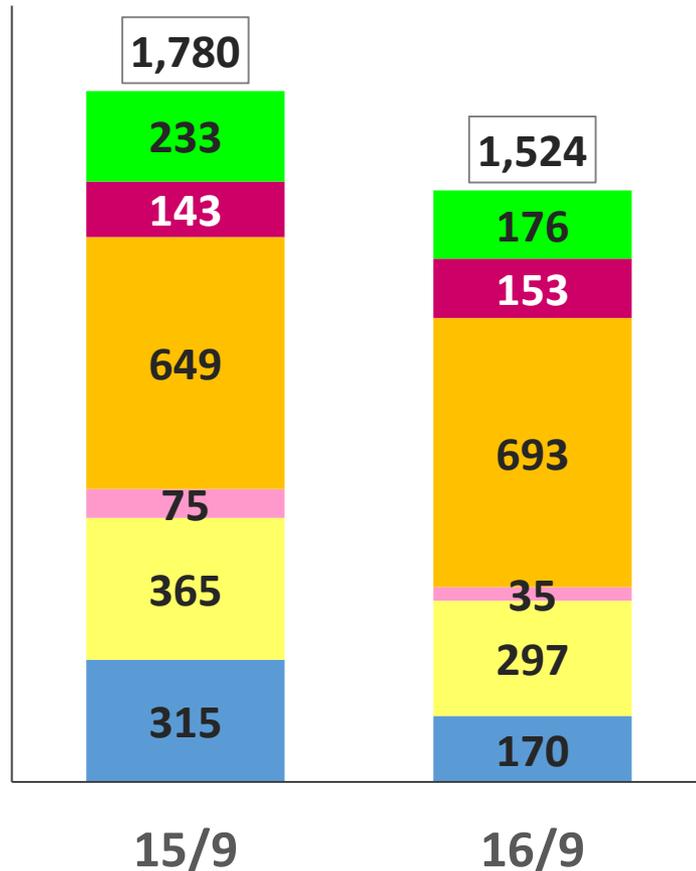
クラウド型無線LANシステム

電子プロダクトの業績

全体では減収するも産業機器市場向けは増収

売上高 (百万円)

■ DA1 ■ DA2 ■ TT
■ II ■ アミューズメント ■ その他



定性情報

- ◆ 重点市場として取り組んでいる産業機器市場(II)は、通信機器や交換機向けビジネスが拡大
- ◆ アミューズメントは独自の電源周辺部品のソリューション提案と開発が奏功し増収
- ◆ モバイル系情報家電 (DA1)では、スマートフォン向けが苦戦し減収



ロジックIC



DSP
(デジタル・シグナル・プロセッサ)

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 … 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 … カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 … 測定器、医療機器、放送設備、通信基地局、交換機等

アミューズメント

… ゲーム機、遊技機等

その他

… パワー(電源関係)、代理店販売等

産機プロダクトの業績

その他以外の全市場で減収

売上高 (百万円)

定性情報



- ◆ 自動機は中国ATM市場での自国製品シフトの影響を受けた販売不振により大きく減収
- ◆ 自動機は世界最大級小売チェーン店の金融端末向けに大型案件獲得する等、ATM以外のビジネスも推進
- ◆ 遊技は市場の冷え込みと競争激化により、大幅減収



スライドレール



ドアラッチ

資料：産機プロダクトの市場区分

自動機

… ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設 「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

…複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF 「オフィスファニチャー(家具)」

…オフィス用キャビネット、机、椅子等

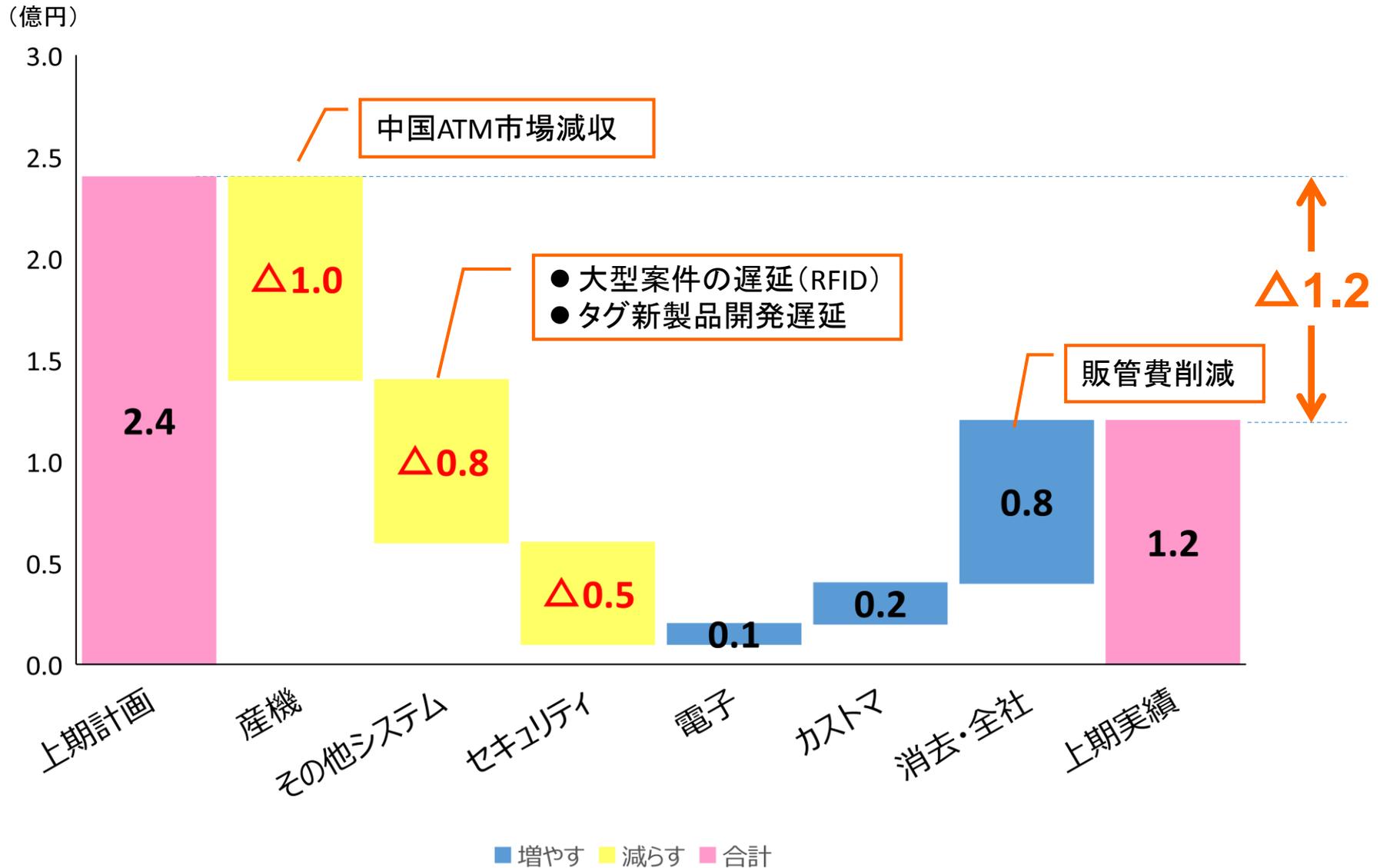
遊技

…パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で自動車内装、半導体製造装置、サーバーラック、鉄道関連等

プロダクト別実績（営業利益）



貸借対照表の状況

減収に伴う流動資産減やのれん償却により資産減少

(百万円)	16/3	16/9	構成比(%)	増減
流動資産	14,992	14,574	83.3	△418
現金預金	5,758	6,028	34.5	269
受取手形及び売掛金	5,863	4,994	28.6	△868
商品及び製品	2,218	2,429	13.9	211
固定資産	3,261	2,912	16.7	△349
有形固定資産	306	307	1.8	0
無形固定資産	1,587	1,264	7.2	△323
投資その他資産	1,367	1,340	7.7	△26
資産合計	18,253	17,486	100.0	△767
流動負債	3,693	3,462	19.8	△230
支払手形及び買掛金	2,466	2,324	13.3	△141
固定負債	716	718	4.1	2
純資産	13,844	13,305	76.1	※ △539
負債純資産合計	18,253	17,486	100.0	△767

※ 2016/09 自社株買い実施 179百万円（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：2.1%）

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

売上債権減少等により営業活動によるキャッシュフローが増加

(百万円)

	15/9	16/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	26	716	689
投資活動によるキャッシュフロー	△51	△39	12
財務活動によるキャッシュフロー	△478	※ △294	184
現金及び現金同等物の増減額	△592	255	848
現金及び現金同等物の期首残高	4,887	5,158	271
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,520	5,428	907

※ 2016/09 自社株買い実施 179百万円 (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:2.1%)

株主還元策について

安定的な配当を継続的に実施
(売上下方修正するも配当予想に変更なし)

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向:連結
2011年3月期	24円00銭	12円00銭	57.9%
2012年3月期	29円00銭	12円00銭	84.1%
2013年3月期	24円00銭	12円00銭	42.2%
2014年3月期	24円00銭	12円00銭	41.5%
2015年3月期	24円00銭	12円00銭	39.9%
2016年3月期	24円00銭	12円00銭	222.4%
2017年3月期(予想)	24円00銭	12円00銭	(見込み) 57.2%

※2012年3月期の年間配当金には創立60周年記念配当5円を含みます。

通期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

2017年3月期 通期業績計画

上期の減収を踏まえ売上を下方修正するも
利益は期首計画を維持

	16/3 期	17/3 期					前期差	前期比 (%)
	年間	上期	下期			年間		
	実績	実績	当初計画	修正計画	差異	修正計画		
売上高	19,986	8,780	11,770	11,500	△270	20,280	293	1.5
粗利益	4,973	2,305	3,040	3,015	△25	5,320	346	7.0
粗利益率(%)	24.9	26.3	25.8	26.2	0.4	26.2	1.3	—
販売費及び一般管理費	4,536	2,178	2,480	2,342	△138	4,520	△16	△0.4
販管费率(%)	22.7	24.8	21.1	20.4	△0.7	22.3	△0.4	—
営業利益	436	126	560	674	114	800	363	83.2
営業利益率(%)	2.2	1.4	4.8	5.9	1.1	3.9	1.8	—
経常利益	410	196	560	604	44	800	389	94.7
経常利益率(%)	2.1	2.2	4.8	5.3	0.5	3.9	1.9	—
親会社株主に帰属する当期純利益	103	77	330	323	△7	400	296	287.5
親会社…当期純利益率(%)	0.5	0.9	2.8	2.8	0.0	2.0	1.5	—

下期業績計画

粗利率の改善と経費削減により大幅増益

売上高 (百万円)

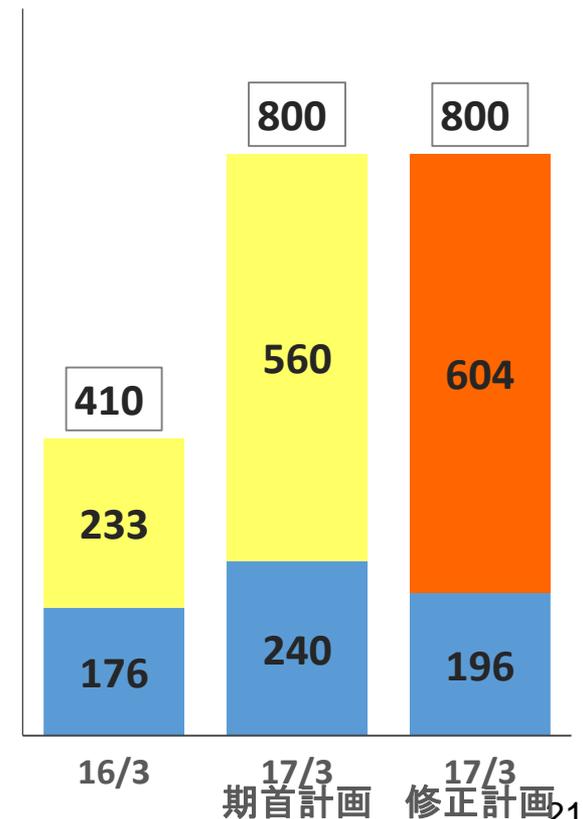
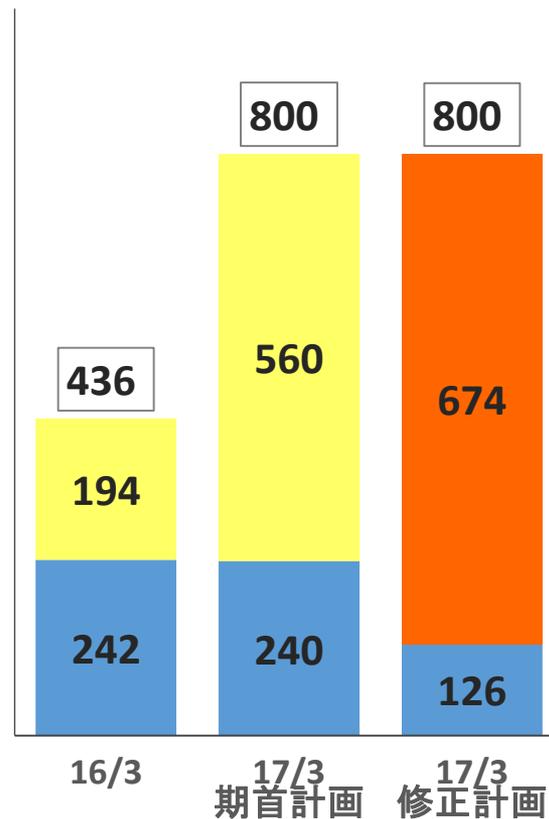
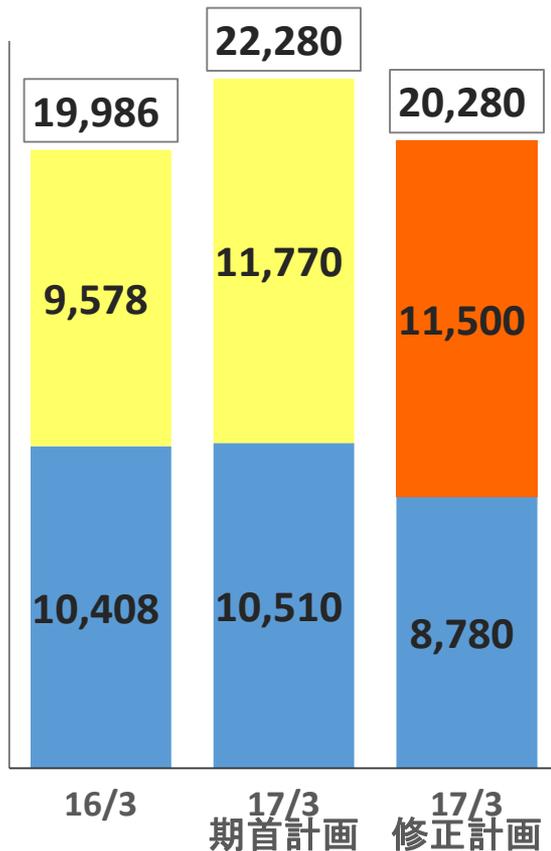
営業利益 (百万円)

経常利益 (百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

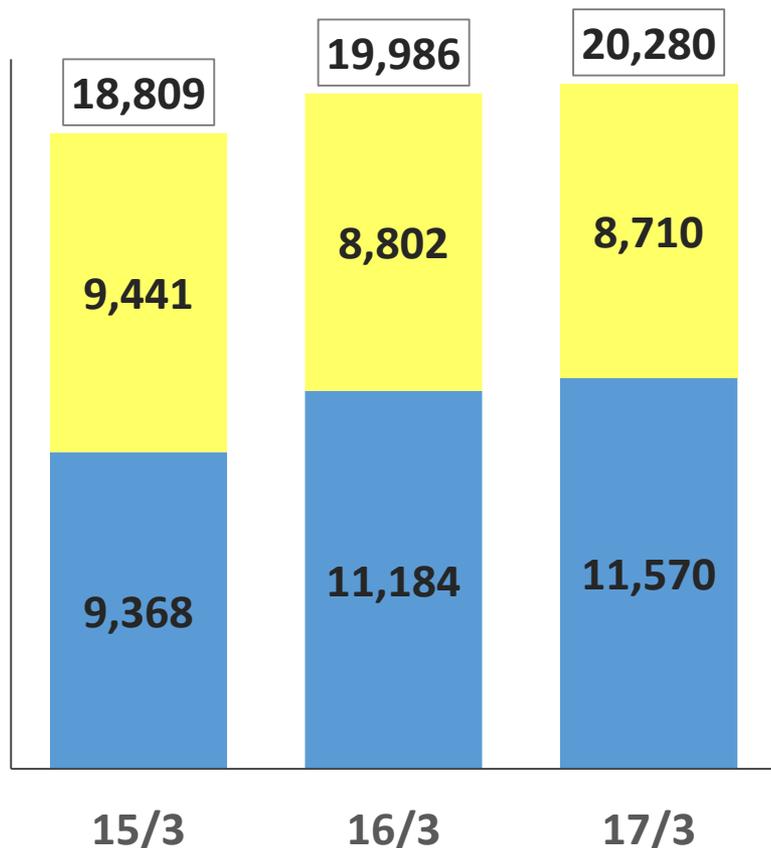


2017年3月期 セグメント別販売計画

システムは微増、デバイスは微減
(9月末受注残は前年同期比増加)

売上高 (百万円)

■ システム ■ デバイス



定性情報

- ◆ システム: セキュリティのソリューション導入事例横展開、Guardfire社の発電所海外案件等の強化、RFID等の新規市場での拡販を図る
- ◆ デバイス: 電子は産業機器市場での拡販継続、産機は本格的な米国攻略を推進し中国ATM市場の影響を最小限に留める

(百万円)

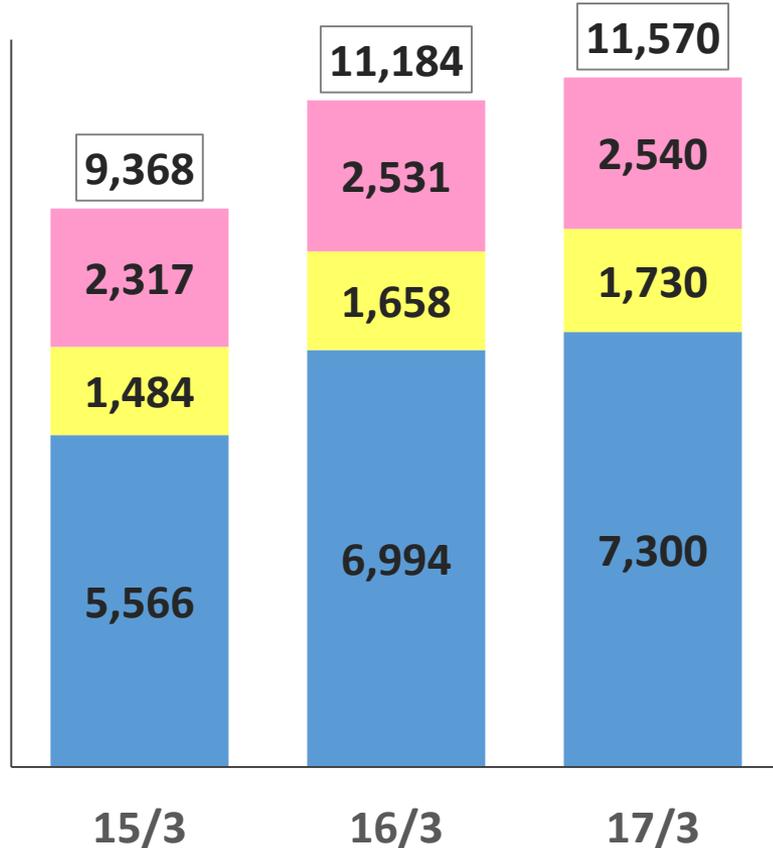
	16/3	17/3	前期比
売上高	19,986	20,280	1.5
営業利益	436	800	83.2
経常利益	410	800	94.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	103	400	287.5

セグメント別販売計画の詳細

産機以外で増収計画

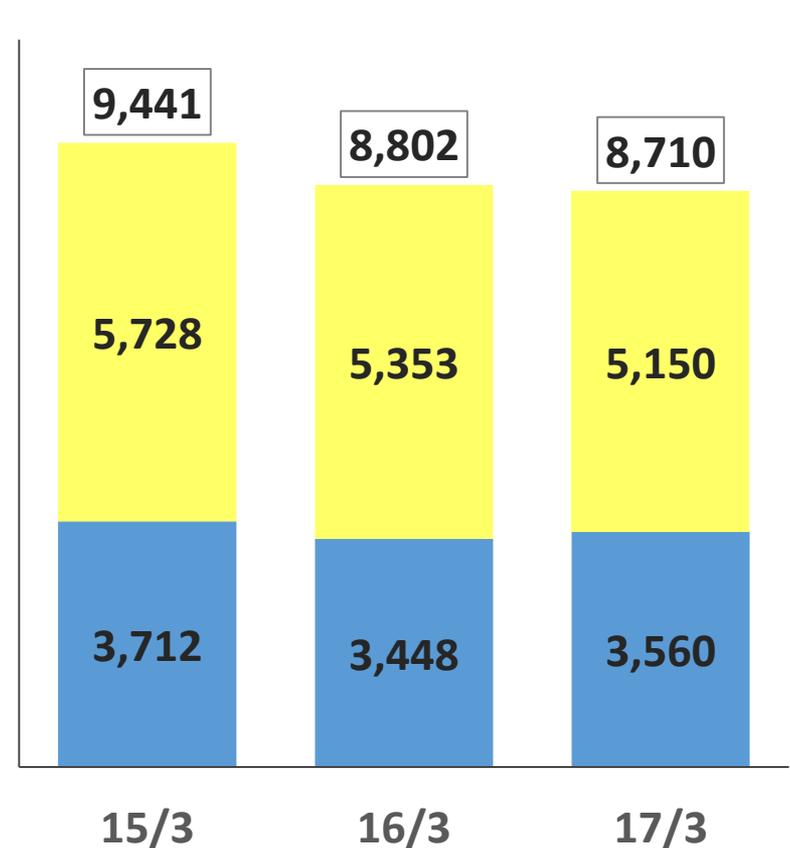
システム

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カスタム



デバイス

■ 電子 ■ 産機

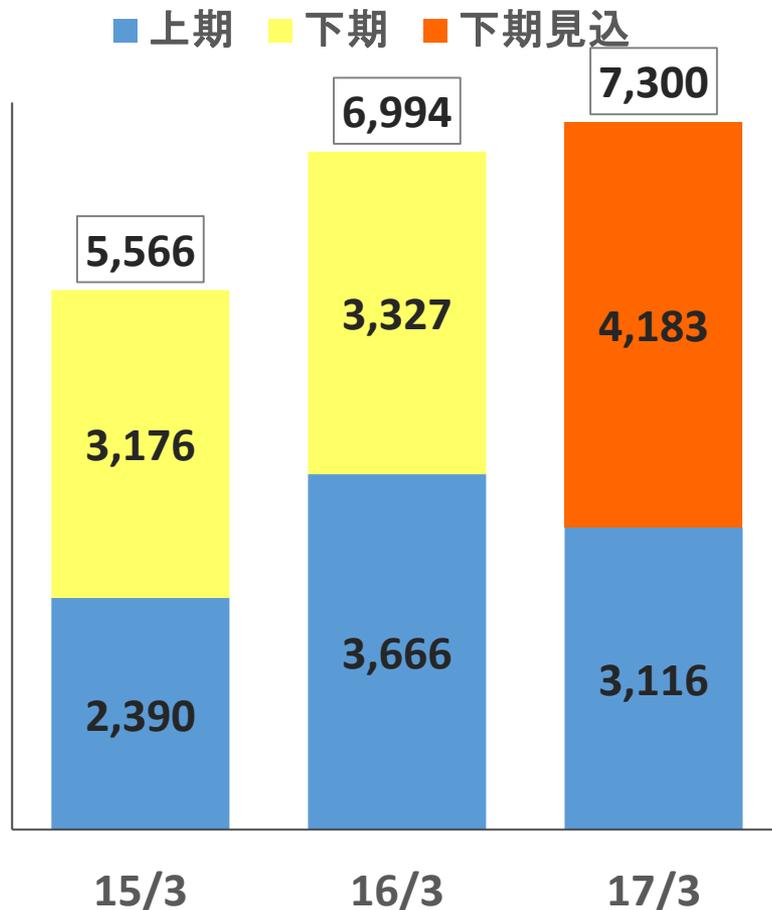


セキュリティプロダクトの販売計画

国内導入事例の横展開、及び海外防火案件獲得の推進

売上高 (百万円)

主な施策



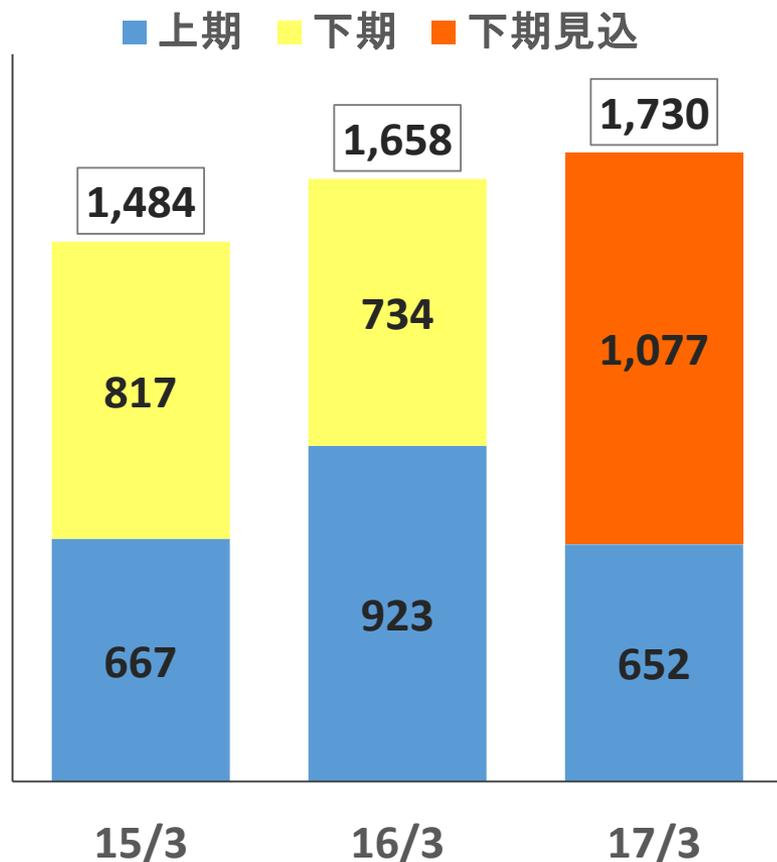
- ◆ FSソリューションの導入事例の横展開、及びCCTV、EASへの展開強化
- ◆ ディ스플레이セキュリティを通信大手キャリアへ拡販
- ◆ オフィスは製品ラインナップを拡充し外資系企業の攻略継続
- ◆ 防火は東南アジア全域で計画されている発電所案件の取り込み強化

その他ソリューションプロダクトの販売計画

RFIDの大型案件取り込みと既存事業の拡大

売上高（百万円）

主な施策



- ◆ RFID大型案件のクロージング
- ◆ クラウド型無線LANシステム (Meraki) は、リセーラーを活用して一括管理サービス事業 (MSP) の販売強化
- ◆ メーリングプロダクトでは大型封入封緘機のリプレース販売強化

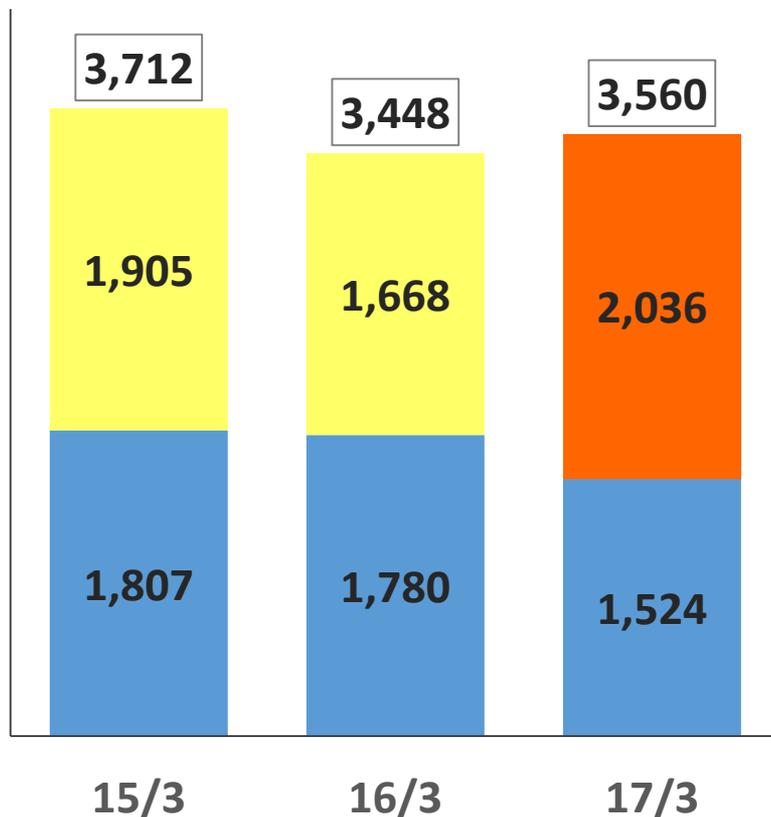
電子プロダクトの販売計画

産業機器市場・情報家電市場への販売強化継続

売上高（百万円）

主な施策

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



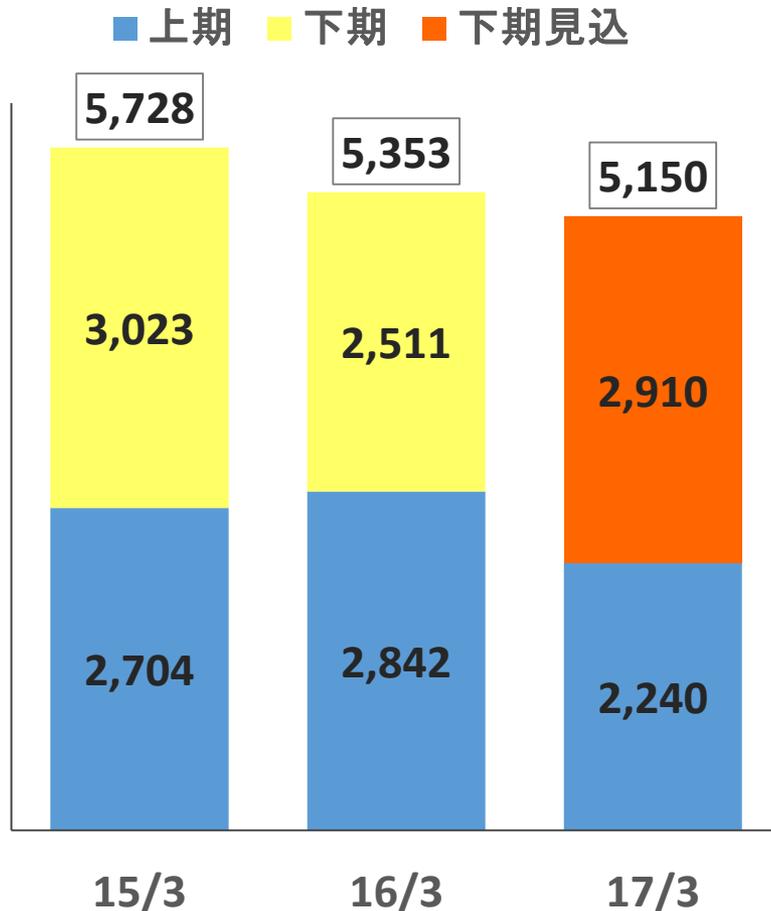
- ◆ 産業機器市場(II)、情報家電市場(DA1・2)で、ソリューション案件、高付加価値ビジネス案件を中心に早期実績化を強化
- ◆ アミューズメントは独自の電源周辺部品のソリューション提案を横展開

産機プロダクトの販売計画

高付加価値提供とグローバルビジネスの推進

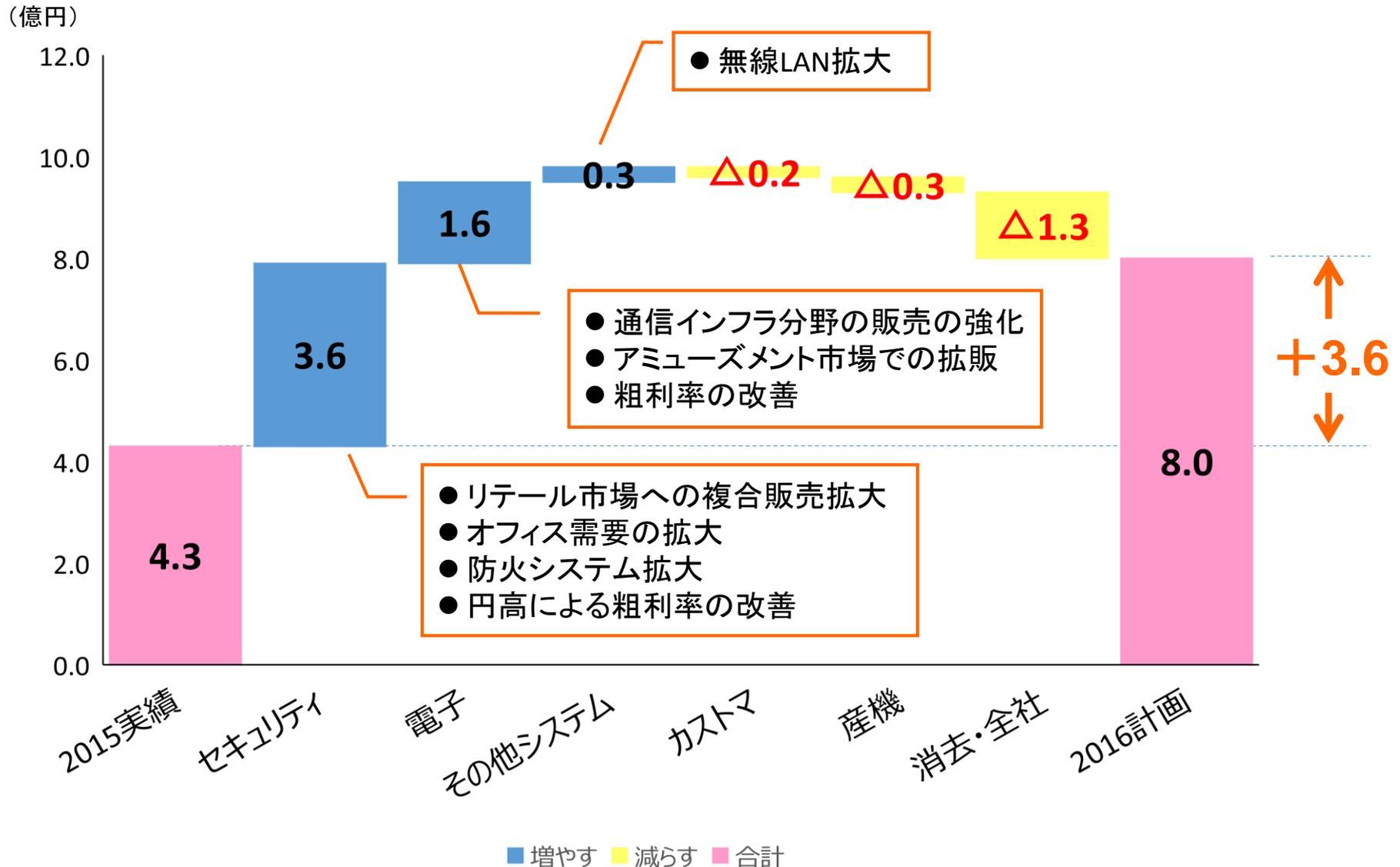
売上高 (百万円)

主な施策



- ◆ 世界最大級の小売チェーン店向け金融端末の継続納入
- ◆ 従来 of 香港・上海に加え、米国での販売活動本格化によるグローバルビジネス推進
 - ※ターゲット業界
 - 香港: 住設、自動車内装
 - 上海: 自動車内装
 - 米国: 住設
- ◆ 自主企画商品開発、生産拠点合わせたグローバルな供給体制、コンサルティング営業、等の高付加価値提供強化
- ◆ 新商品(サウスコ社等)拡販

プロダクト別計画(営業利益)



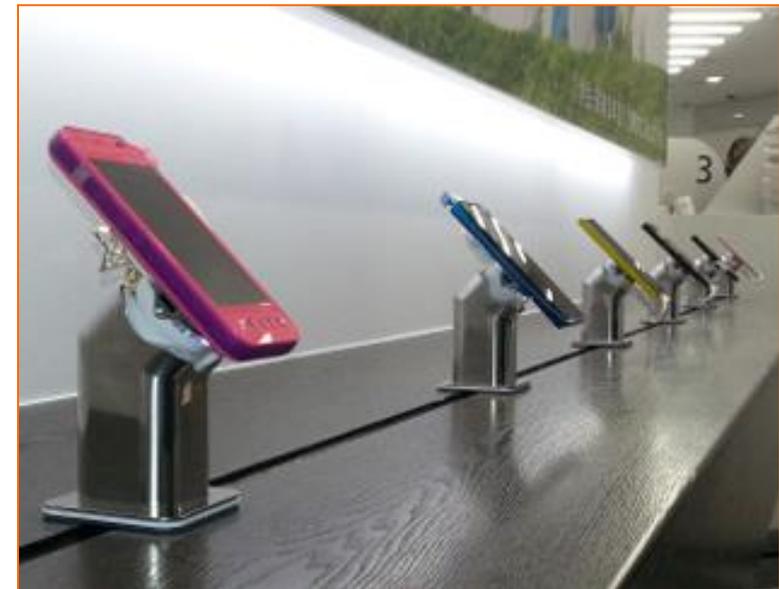
トピックス

独自ソリューションの展開と
グローバル事業の拡大による
利益成長の実現

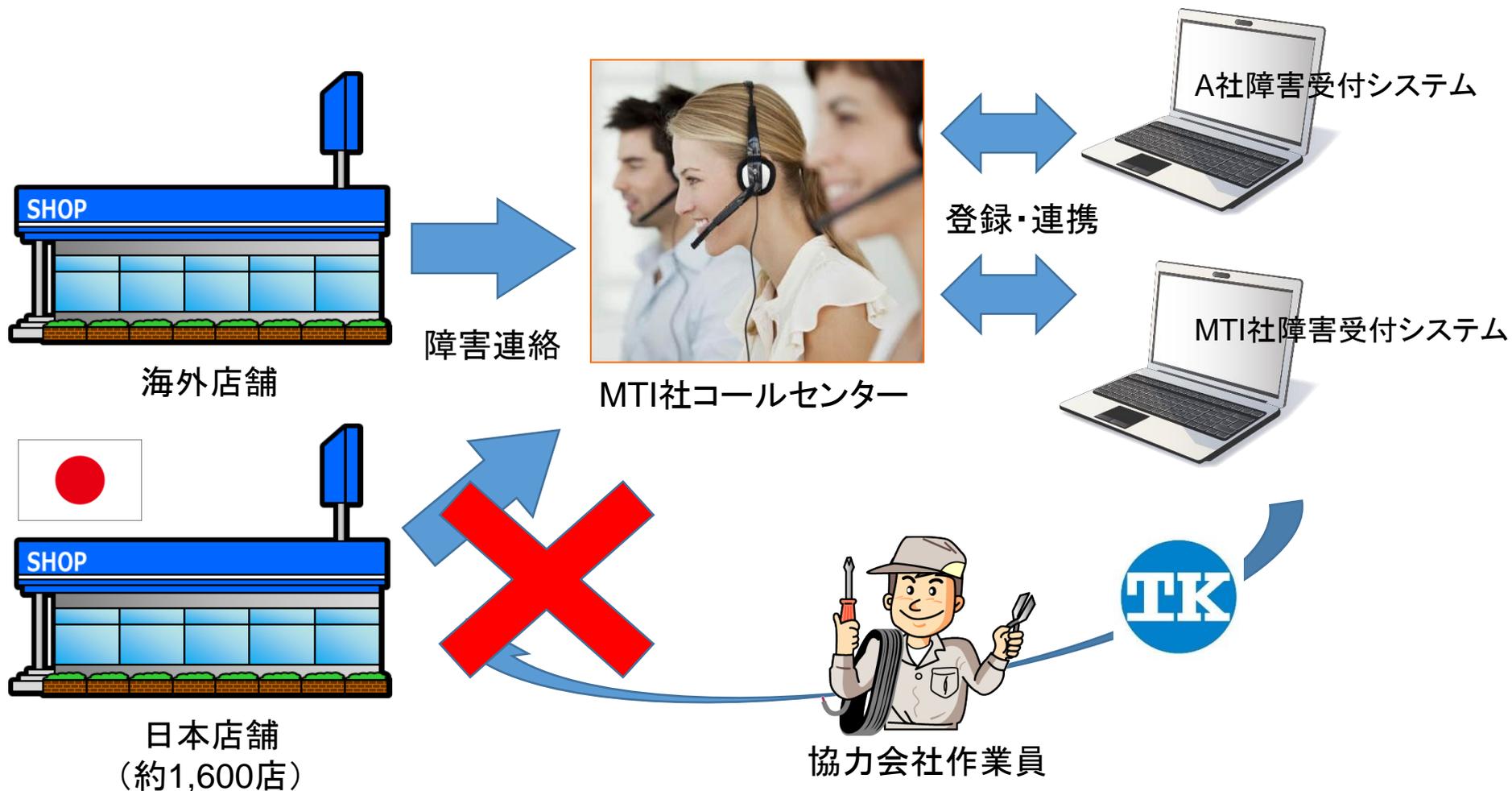
①ディスプレイセキュリティ&独自の保守体制構築

◆ディスプレイセキュリティとは？

- ✓ スマートフォン、タブレット、携帯電話、カメラ、ムービー等の全国1600店舗の店頭展示什器に組み込んでスタイリッシュな展示を実現
- ✓ 収納式の充電コード、盗難防止ケーブル
- ✓ 充電により実機の機能や使い勝手を実際に試すことができ、商品性能アピールに最適
- ✓ 商品やディスプレイの美観を損ねることなく展示品の盗難防止を実現

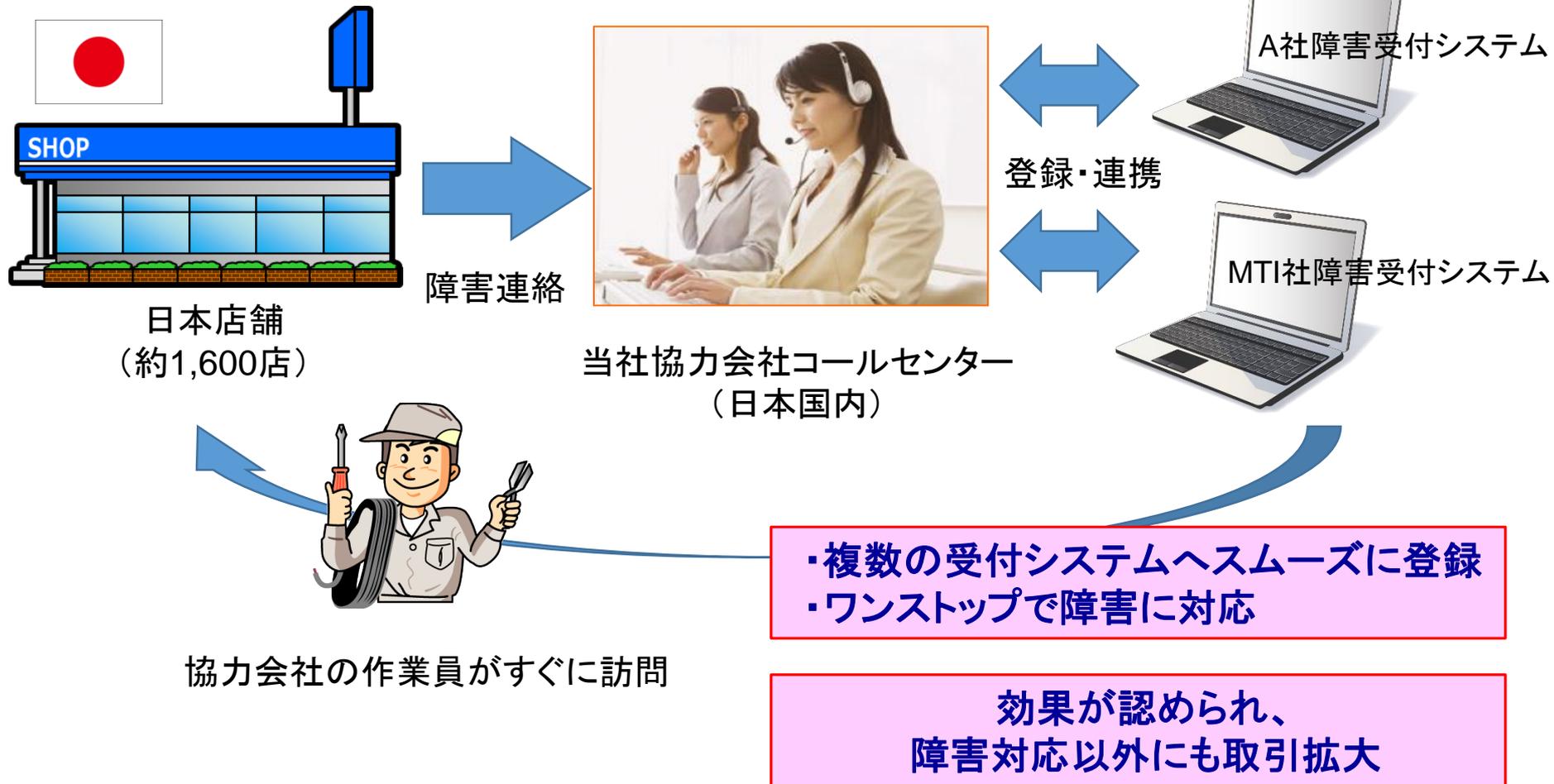


従来の保守体制



言語の壁、修理までにかかる時間等により、日本への対応が困難

独自に構築した新保守体制



② エスキューブとマイティカード合併

2017/1/1 始動
マイティカード・エスキューブ株式会社(仮称)

製造業・物流業・
サービス業市場
(RFID利用顕在化)

×

アパレル市場
(RFID利用本格化)

製品開発力
ブラッシュアップ

顧客基盤共有化
営業力強化

業務効率向上

更なる付加価値を創出し収益拡大を図る

	株式会社S-Cube	マイティカード株式会社
事業内容等	盗難防止及び防犯管理システムの開発 及び製造並びに販売	RFIDタグ及び周辺機器(リーダライタ) システムの開発と販売
沿革	1987年 設立 2002年 (株)クボタより取得	1997年 設立 2012年 丸紅(株)より取得

ACTIVE RFID TAG市場への展開

～ 従来の防犯機能に加えて～

Mighty Card
RFID SOLUTION PROVIDER

RFID ICチップ



セミアクティブ
RFIDタグ



EAS兼RFIDアンテナ

自鳴技術



工場

倉庫

小売店舗

オフィス

Check!

Solution1
在庫管理

Solution2
入退室管理

Solution3
資産管理

Solution4
ユニフォーム管理

中期経営方針と経営目標

独自ソリューションの展開とグローバル事業の拡大による 利益成長の実現

2018年度 売上目標 255億円、経常利益目標 15億円

経常利益20億円を目指し、当中期計画でV字回復を達成する

Challenge toward 2018 - Beyond Boundaries -

◇Boundary 1 組織間の境界線を踏み越える

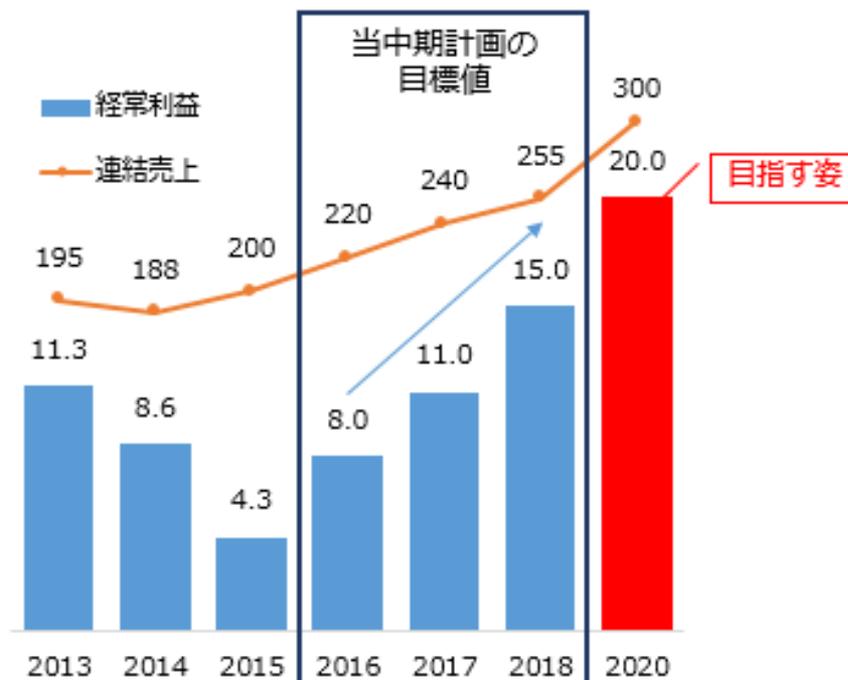
グループ内で専門的に事業展開する各社の技術と販売網を結集させ独自性を確立し競争力を強化

◇Boundary 2 地域的な境界を飛び越える

成長する海外市場への進出を加速させ成長力を拡大

◇Boundary 3 事業領域の境界にチャレンジする

新たな成長分野に挑戦し事業領域を拡大させることで、収益拡大のサイクルを構築

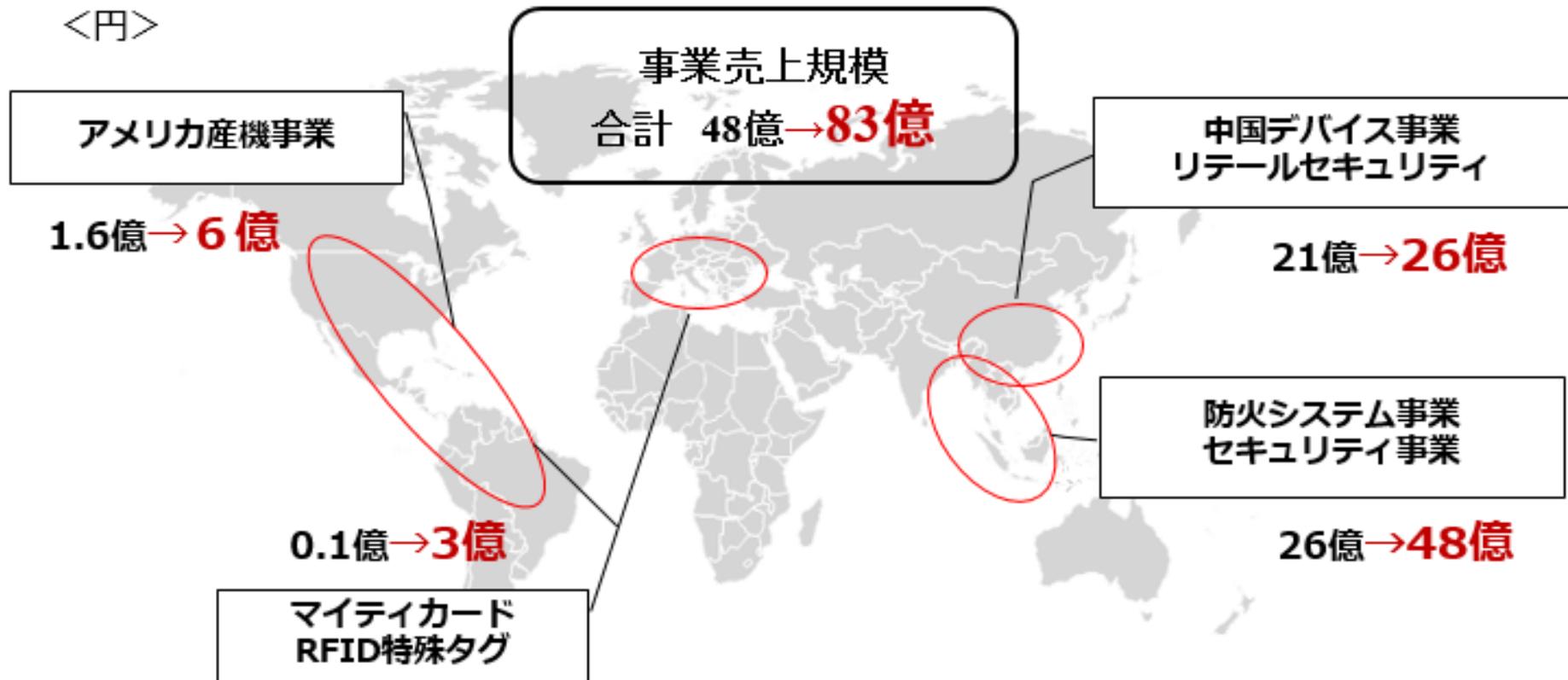


グローバル事業の展開

グローバルビジネスの拡大

- ① 東南アジアにおける防火システム事業の拡大
- ② 産機事業の海外展開（中国、アメリカ）の加速
- ③ 中国・東南アジアにおけるセキュリティ事業の拡販
- ④ RFID特殊タグの海外市場（欧州、北米）への販売

<円>



事業ポートフォリオ 売上拡大シナリオ

新規市場	② グローバルビジネスの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ● 産機事業の海外展開(中国・アメリカ) ● 東南アジア防火システム事業 ● リテールセキュリティの中国、東南アジア 	④ 新規ビジネスの創出 <ul style="list-style-type: none"> ● RFIDシステム、特殊タグ ● ネット通販(新規) ● 新規事業(環境、クラウドサービス事業等) 	
	投資分野	投資分野	
既存市場	① 既存市場への既存商品の販売 <ul style="list-style-type: none"> ● 国内商品監視システム、タグ販売 ● 入退室システム、カメラ ● ネットワーク機器 ● インサーター、IJP ● 半導体・部品販売 ● 国内スライドレール、ダンパー他 	③ 付加価値による競争力強化 <ul style="list-style-type: none"> ● リテールRFIDシステム ● 画像認識システム ● 複合リテールソリューション ● クラウド型無線LANシステム ● デバイスソリューション 	
	投資分野	投資分野	
既存商品		新商品	

※数字は2015年比、連結調整前数字

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。